



Commemoration by 1/500 Scale Models for 3.11

唐桑・大沢【宮城県気仙沼市】写真 | 太田拓実

ArchiAid 2012 EXHIBITION

失われた街

3.11のための模型復元プロジェクト展

2012年8月31日 [金] → 9月9日 [日] ヨコハマ創造都市センター

11:00→19:00 (最終日は17時終了) 横浜市中区本町 6-50-1

入場無料 | 会期中無休

お問合せ | 045-226-0655 (YCCスクール) yokohama@losthomes.jp

www.losthomes.jp

主催 | 失われた街横浜展実行委員会、YCCスクール、横浜市立大学、アーキエイド、一般社団法人ジャズ喫茶ちぐさ・吉田衛記念館

企画 | 神戸大学大学院機橋修研究室、横浜市立大学鈴木伸治ゼミナール

後援 | 横浜市文化観光局、神奈川新聞社、tvk (テレビ神奈川)

協力 | NPO 新町なみえ、TOTO ギャラリー・間、日本スペースイメージング、名古屋市立大学久野紀光研究室、

NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、NPO 法人ミニシティ・プラス、金一グループ

協賛 | キリンビール株式会社・株式会社浜屋商店、キーコーヒー株式会社

「失われた街」模型復元プロジェクトは、全国の学生達が協力して、

被災前の縮尺1/500の復元模型を作成する取り組みです。

被災地の復興と共に人々の記憶の再生を願い、模型とこれまでの活動成果を展示します。

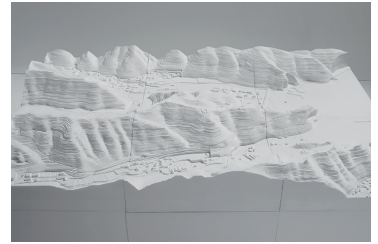
*兵庫県立美術館での展示風景

01 | 復元模型展示

22の模型で再現される東日本の記憶

主に首都圏の大学生によって作成された復元模型を展示します。地域にして22地域、1m四方の模型単位にして67個分の模型によって東北の街や三陸海岸の集落が再現されています。豊かな自然環境の中で生まれ、3.11によって失われた風景の多様性を体感し、かけがえのない日常があったことを伝えます。

〔展示予定模型〕 岩手県 | 野田〔九戸郡野田村〕 / 田野畑〔下閉伊郡田野畑村〕 / 田老〔宮古市〕 / 女遊戸〔宮古市崎山〕 / 重茂〔宮古市重茂〕 / 釜石〔釜石市〕 / 崎浜〔大船渡市三陸町越喜来〕 / 大船渡〔大船渡市〕 / 陸前高田〔陸前高田市〕 宮城県 | 唐桑・大沢〔気仙沼市〕 / 鹿折〔気仙沼市〕 / 弁天町〔気仙沼市〕 / 南気仙沼駅周辺〔気仙沼市〕 / 大島〔気仙沼市〕 / 志津川〔南三陸町〕 / 女川〔牡鹿郡女川町〕 / 石巻〔石巻市〕 / 狹浜・小横浜〔石巻市〕 / 鮎川浜〔石巻市〕 / 荒浜〔仙台市若林区〕 福島県 | 相馬港〔相馬市〕 / 浪江〔双葉郡浪江町〕



*女遊戸〔岩手県宮古市崎山〕

02 | 映像作品上映

復元模型によって紡ぎ出された人々の記憶

復元模型をのぞき込んだ現地の人々から、多くの言葉が語られました。2011年6月から宮城県気仙沼市の各地において地域の皆さんと模型に色を塗り、思い出の場所にフラッグを立てる「記憶の街ワークショップ」を行ってきました。地図や写真では見えなかった街の記憶が立体的に現れます。本展ではワークショップ模型の展示に加え、プロジェクトに参加した演劇人達によって制作された住民の証言を元にした演劇作品『失われた街 ギャラリー・リーディング〜鹿折（宮城県気仙沼市）〜』（演出：高尾隆、映像監督：蔵岡登志美）を上映します。

*映像作品は会期中、常時放映中（イベント開催時は除く）



*石巻〔宮城県石巻市〕

03 | トークイベント

言葉で繋ぐ東北と横浜、震災から復興への道程

東日本大震災からの復興は長い道のりです。失われた街横浜展では横浜と東北の被災地をつなぐ活動をされている様々な方々の活動を紹介し、これからの震災復興支援のあり方、横浜における地震防災のあり方を考える連続トークイベントを開催します。

8/31 〔金〕
18時半→20時半
『被災地は今〜気仙沼市大沢地区からの報告』
津波被害から高台移転を目指す漁村集落大沢地区の復興について、地域リーダー熊谷光広氏（防災集団移転期成同盟会会長）を囲み、話し合う。

9/1 〔土〕
14時→16時
『東北から学ぶ横浜の防災』
東北で震災の被害をヒアリングする横浜在住の防災専門家・鈴木光氏と、横浜周辺の防災対策に力を入れる東海大学水島久教授他による横浜の防災を考えるトーク+会場参加型ワークショップ。

9/2 〔日〕
13時半→15時半
公開ワークショップ
『こども・まち・みらい〜横浜と気仙沼をつなぐ』
NPO法人ミニシティ・プラスのメンバーと被災地の子供たちが「遊びのまち」「遊べるまち」をテーマに交流する、公開ワークショップ。会場に足を運んだ参加者との交流も。

9/2 〔日〕
17時→19時
『それでも、JAZZがある〜横浜と大船渡をつなぐ』
ともに2012年、3.11に復活を果たした大船渡h.イマジン・富山勝敏店主と野毛ちぐさ・遊佐正孝会長がSkype対談。生演奏と名盤談話も。

9/7 〔金〕
18時半→20時半
『被災地から見た震災報道とは』
大船渡のかもめ玉子・齊藤賢治専務がマスコミへの批判、注文を、JNN三陸臨時支局・龍崎孝前支局長が被災地目録の震災報道を語る。

9/8 〔土〕
13時→15時
『復興なみえ from now』
原田洋二（浪江町復興計画策定委員会委員）らが、放射能による被害を受けている浪江町の最新映像と、復興に向けた町民・行政の活動を紹介します。

9/8 〔土〕
17時→19時
『石巻と横浜をつなぐ』
日和アートセンターの山野真悟、立石沙織、石巻2.0の松村豪太、西田司ら、若者の就労支援プロジェクトの田上理恵子、岩本真美らが石巻の復興について語る。

9/9 〔日〕
14時→16時
『大学生からみた復興支援活動』
同展展示の模型を中心となって製作した神戸大学をはじめ、地元横浜市立大学の学生など、実際に被災地に足を運んだ学生たちが見た「東北の景色」「復興」について率直に伝えるトークセッション。



南気仙沼駅周辺〔宮城県気仙沼市〕



*浪江〔福島県双葉郡〕
*写真 | 太田拓実

◎追加トークイベントもありますので詳細についてはウェブサイトをご覧ください > www.losthomes.jp/yokohama/

◎ご予約：お名前/参加日/イベント名/ご所属(会社・学校等)/お電話番号を記入の上、yokohama@losthomes.jpまでE-mailにてお申してください **入場無料**

04 | シンポジウム

YCCスクール・アーキエイド・シンポジウム in YOKOHAMA

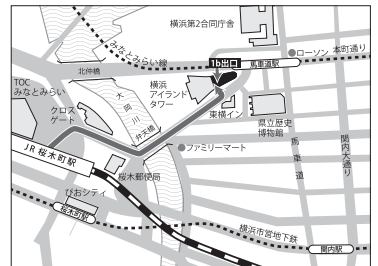
『被災地で大学・専門家がができること』

9月1日〔土〕18時→20時（17時半開場） | 入場無料〔定員50名*〕
ヨコハマ創造都市センター 3Fスペース

東北の被災地で活動する大学チームの活動報告を通して、震災復興の現場で専門家や大学ができること、そして今後の東北の復興について語ります。

出演 | 小嶋一浩〔建築家 | 横浜国立大学大学院Y-GSA教授〕 / 鈴木伸治〔都市計画家 | 横浜市立大学准教授〕 / 曾我部昌史〔建築家 | 神奈川大学教授〕
槻橋修〔建築家 | 神戸大学大学院准教授〕 / 中津秀之〔景观設計家 | 関東学院大学准教授〕

◎ご予約：お名前/参加日/イベント名/ご所属(会社・学校等)/お電話番号を記入の上、yokohama@losthomes.jpまでE-mailにてお申してください



ヨコハマ創造都市センター 〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1
○みなとみらい線「馬車道駅」1b出口 ○JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分 ○JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分
*駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。